

AdmixtureIII

座長:小澤満津雄(土木),菅俣 匠(建築)

Wed. Jun 26, 2024 3:20 PM - 5:20 PM Room 4 (第3・4会議室)

[1035]Study on hydration reaction analysis and selective dissolution method of limestone calcined clay cement

Ryousuke Yoshida¹, Natsuki Yoshida¹, Sae Kondo², Daiki Atarashi¹ (1.島根大学 2.太平洋セメント)

Keywords: 石灰石焼成粘土セメント、煅焼カオリン、石灰石微粉末、 R^3 test、水和反応解析、選択溶解法

石灰石焼成粘土セメント（Limestone Calcined Clay Cement）の水和反応解析を行い、煅焼カオリンの反応率算出方法については、Durdzińskiらの提唱するマスバランス法と選択溶解法を比較して、選択溶解法の適応可能性を検討した。煅焼カオリン（MK）は高い活性を示し、初期材齢において高炉スラグ微粉末を超える圧縮強さを示した。反応率算出のため2つの選択溶解法を適用した結果、HCl- Na_2CO_3 選択溶解法がマスバランス法により算出した反応率と精度よく一致する結果を示した。MK反応率の算出にはHCl- Na_2CO_3 選択溶解法の適用が有効であると考えられた。